

YASKAWA

長期の安心発電のため、 念には念をいれませんか?

PID現象への対策も

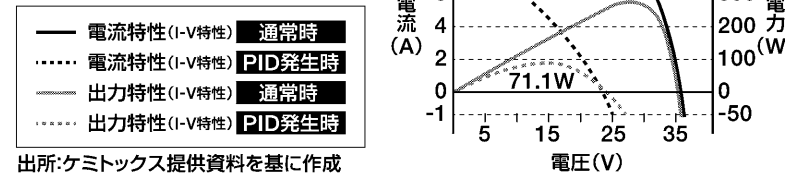
安川電機のパワコンなら標準対応で安心!!

産業用太陽光発電において、出力低下(売電収入低下)をもたらす原因の一つに、PID現象という問題があります。

Enewell-SOLP2Hなら、PID現象の対策に有効な「P/N極接地」が標準製品で可能。

出力低下の少ない、安心の太陽光発電をお約束いたします。

PID現象発生時の出力変化例



出所:ケミトックス提供資料を基に作成

三相絶縁型 太陽光発電用/パワーコンディショナ
Enewell-SOL P2H
9.9 kW(200V級 三相)



詳しくは、[第9回] 太陽光発電システム施工展で

2018年 2月28日(水)~3月2日(金) 会場 東京ビッグサイト 小間番号 E23-2

※その他にも、太陽光発電用のパワーコンディショナ(参考出展/日本国内初公開)、風力発電やマイクロ水力発電用機器など様々な製品を展示しておりますので、ぜひ当社のブースへお越しください。

株式会社 安川電機

システムエンジニアリング事業部 TEL 0930-23-5079 FAX 0930-23-5249
【オフィシャルサイト】www.yaskawa.co.jp 【製品・技術情報サイト】www.e-mechatronics.com

再生可能エネルギー 普及に不可欠 パワーコンディショナー

安川電機
安川電機は太陽光発電の低圧市場向け(50V未満)に、高周波トランスを内蔵したパワーコンディショナー「Enewell-SOL P2H9.9kW」を販売している。高温多湿の環境下で太陽電池の出力が低下するPID現象の抑制に有効な独自の機能を搭載し、発電量を最大化するために太陽電池を多く接続する過積載対応にも優れる(約200%入力仕様の範囲内に限る)。

2月28日開幕の「太陽光発電システム施工展」では同製品と合わせて、今回日本初出展となる新たな太陽光発電用パワーコンのほか、風力発電や水力発電などさまざまな用途向けの機器を出展し、詳細な特徴や魅力を紹介する。

菊水電子工業
電気自動車(EV)市場はZEV規制やNEV規制などの環境規制が追い風となり、各社はEV、PHEV、FCVなど次世代自動車の量産を急遽に拡大する見通しだ。これに伴い、スマートグリッドの構成要素として車載バッテリーの電力を車両走行以外の用途で活用するV2X(V2H、V2L、V2V)を実現・評価するための双方電源の活用が見込まれる。

菊水電子工業のユニット型双方向電源VPC(Versatile Power supply Converter)シリーズはV2X、各種電源エージング評価など、さまざまな用途に応じて、組み合わせ自在に活用できる新しいスタイルの電源装置だ。

有力企業の製品・技術(順不同)
遊休地などを活用したメガソーラー施設への関心は依然高い(石川県の能登瑞穂第一・第二発電所=トリナ・ソーラー提供)



地球環境問題、資源 生可能エネルギー電気もあるが、一方で太陽光発電を後押しする動向が続く中、再生可能エネルギー利用の拡大が期待される。住宅用の太陽光発電システムは2016年度から進められていくと見られており、ZEV(ゼロエミッション)を実現するたためには再生可能エネルギー発電設備の活用が不可欠となる。直列接続する大きなポイントになる。その中心は設置が容易な太陽光発電システムだ。

自家消費電源導入の動きは住宅にとどまらず、ビルさらには高温多湿の環境であるほど劣化が進むと言われる。PID現象のリスク軽減を、パワコン側で対策できる製品が登場している。改正FIT法による規模、住宅が非住宅かという用途、災害対策として急時の非常電源として使用するかどうかなど、品についても使いやすさによって、システムの構成や制御方法が異なることも重要になっていく。パワコンに

太陽光発電に重要な役割
地球環境問題、資源 生可能エネルギー電気もあるが、一方で太陽光発電を後押しする動向が続く中、再生可能エネルギー利用の拡大が期待される。住宅用の太陽光発電システムは2016年度から進められていくと見られており、ZEV(ゼロエミッション)を実現するたためには再生可能エネルギー発電設備の活用が不可欠となる。直列接続する大きなポイントになる。その中心は設置が容易な太陽光発電システムだ。

自家消費電源導入の動きは住宅にとどまらず、ビルさらには高温多湿の環境であるほど劣化が進むと言われる。PID現象のリスク軽減を、パワコン側で対策できる製品が登場している。改正FIT法による規模、住宅が非住宅かという用途、災害対策として急時の非常電源として使用するかどうかなど、品についても使いやすさによって、システムの構成や制御方法が異なることも重要になっていく。パワコンに

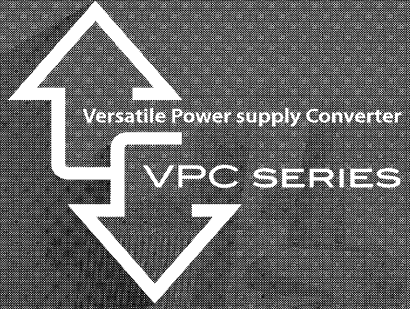
再生可能エネルギー、クリーンエネルギーとして導入拡大が進む太陽光発電、燃料電池は直流電力を生じる発電技術だ。一方、商用電力網は交流。住宅やビルで用いられる機器や設備は交流電力で稼働するため、太陽光や燃料電池で起こされた電気を交流に変換する必要がある。パワコン製品は電気自動車(EV)やプラグイン・ハイブリッド車(PHEV)、燃料電池車(FCV)の電力を住宅などへの給電に利用する際にも重要な役割を担う。

ついてはさまざまな機能が搭載され、ユーザーの設備により合致した製品を選べるようになってきた。東日本大震災を契機に12年以降、再生可能エネルギー導入が急速に進み、メガソーラーが各地で稼働するようになってきた。規模の大きな太陽光発電設備が増えたことで明らかになってきた問題の一つが、PID現象の発生だ。PID現象は太陽電池セルとフレームの間で長時間高電圧が加わることによってセルの発電量が低下してしまう現象が生ずる。

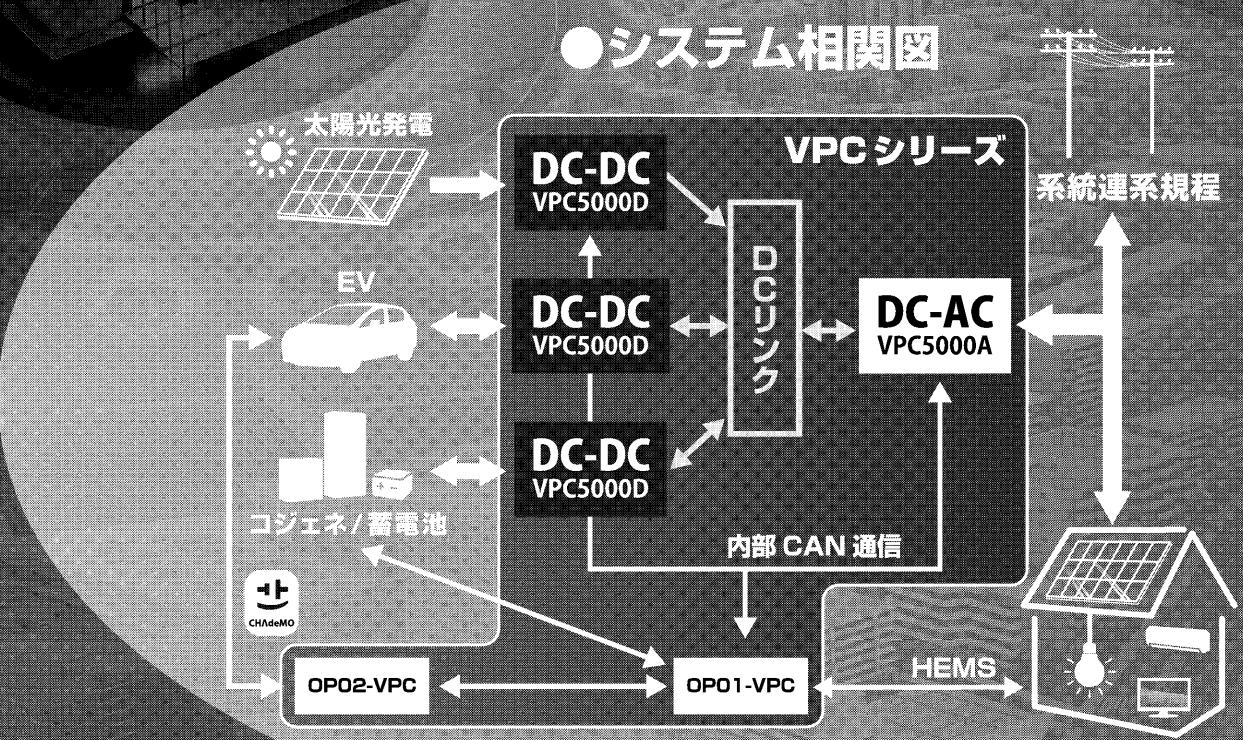
KIKUSUI

エネルギー管理ソリューション ユニット型双方向電源 VPC シリーズ

ユニット型双方向電源VPCシリーズは、V2H、V2L、各種電源エージング評価等、様々な用途に応じて、組み合わせ自在にご活用いただける新しいスタイルの電源装置です。また、従来通りお客様のご要望に応じて、システム化することも可能です。



V2Hやパワコンに電源にもなれば負荷にもなる構成自在な電力コンバータ



絶縁型双方向 DC-DC コンバータユニット
VPC5000D ¥660,000(税抜) **DC-DC**

- 双方向に電力変換可能。蓄電池、EV、PV パワコン等の様々なアプリケーションに対応
- 高効率で小型軽量設計
- 広範囲な入力電圧範囲

非絶縁型双方向インバータユニット
VPC5000A ¥440,000(税抜) **DC-AC**

- 交流側は系統連系運転と自立運転が可能
- 系統連系規定に準拠
- 高効率で小型軽量設計

IFユニット オプション(応相談)

V2H制御ユニット オプション(応相談)

VPCシリーズの詳しい情報はこちらで
KIKUSUI mag キクスイマガ 検索 mag.kikusui.co.jp